特定非営利活動法人星のソムリエ機構事業計画(2024 年度)

(2024 年 7 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日)

2024/07/09/理事会決定

A. ミッション.....2

中期計画(2024 年度－2026 年度 3 年計画)..... 2

B. 星空案内人資格認定制度の円滑な運営を図る事業 2

資格認定制度運営規則の管理・運営 (制度規則) 2

講義要綱の管理・運営 (講義要綱)..... 3

認定基準の管理・運営 (認定基準)..... 3

C. 星空案内人を育成し活動を支援する事業 3

新規申請団体審査 (審査)..... 3

実施団体年次報告の点検・対応 (年次報告) 3

実施団体へのサポート(実施団体)..... 4

単位互換制度の運用 (単位互換)..... 4

Monthly Notices / News Letter の発行 (M&N) 4

ヘルプデスク (HD) 5

養成を中断、中止、終了した団体の対応 (終了団体)..... 5

講義資料等の提供 (講義資料) 6

海外対応カリキュラム (海外カリ)..... 6

講師研修/養成 (研修) 6

附属講座運営 (直営)..... 6

新規参加を目指す団体へのサポート (新規団体) 7

全国シンポジウム開催 (シンポ)..... 7

星のソムリエのためのワークショップ開催 (WS) 8

全国星のソムリエサポート (星のソムリエ) 8

星のソムリエユース(子ども向けの育成事業) (子ども) 9

地域活動支援（地域活動支援）..... 9
海外との交流（海外交流）..... 9

A. ミッション

- 「町内に一人案内人」（5,000 人から 50,000 人へ）
- 講座開講地 50 から 100 へ
- 広く愛される星のソムリエ（安定した信頼される制度運営）

中期計画(2024 年度－2026 年度 3 年計画)

1．新規団体の育成をして健全な内容の申請ができる仕組みを作る。
2．既存の実施団体が星空案内人を養成して良かったと感じてもらえる政策を行う。
3．商標を含め、星のソムリエのブランド力を高める。
4．実施団体および他の団体・個人からの支援をうけて機構運営財源を確保する。

B. 星空案内人資格認定制度の円滑な運営を図る事業

資格認定制度運営規則の管理・運営（制度規則）

[目標]
星空案内人資格認定制度（講座開催や星空案内人養成など）が 円滑に実施されるように制度規則を調整する（必要があれば随時改正する）。
[計画]
1．各事業グループでなんらかの事業を理事会の決議を経て実施するとき、実施の根拠となる規則の追加が必要な場合には規則の追加あるいは変更をおこなう。
2．制度規則の不備を示唆する事例が発生したとき、制度規則を検討し必要なら変更を行う。制度規則に記載するほどではない軽微な内容であれば、制度細則に記載することも検討する。

講義要綱の管理・運営（講義要綱）

[目標]
講座の実施状況や星空案内人現場の様子を把握して講義要綱を適切に調整する。
[計画]
「 さあ、はじめよう」以外の科目についても講義要綱の改訂を行う。

認定基準の管理・運営（認定基準）

[目標]
認定基準(認定レポート及び認定チェックシート)を良い状態に維持管理する。
[計画]
認定基準のメンテナンスの実施
「 星空案内の実際」の認定チェックシートの整備を進める。
認定チェックシートについて 望遠鏡を使ってみようの認定チェックシートの英語版について作成を進める。
認定基準の整備計画の作成を進める。
認定基準科目ごとの整備の開始。

C. 星空案内人を育成し活動を支援する事業

新規申請団体審査（審査）

[目標]
実施団体として参加申し込みがあったときに実施団体としてふさわしいか適切に審査する。
[計画]
(1)制度に参加申し込みがあったときに実施団体としてふさわしいか審査する。
(2)審査が迅速かつ適切に行われるような体制の整備をもう一歩進める。
(付帯:公文書不記載) 条件が整えば、審査を有料化する。

実施団体年次報告の点検・対応（年次報告）

[目標]
制度規則として義務付けられている実施団体の年次報告書について、 その内容を点検して制度の改善点はないか点検する。 あわせて、実施団体が適切に制度を運用してい

るかチェックする。
[計画]
「 実施報告書」の様式はほぼ安定。
今後、より簡便に、そして確実に報告できる方法を検討する。
具体的には、Google Form に入力して Word や PDF 出力できないか、を検討。

実施団体へのサポート(実施団体)

[目標]
「実施団体が持つ目標の実現に貢献するように星空案内人資格認定制度を使っていただきたい」という思いでこの制度は作られている。このために必要な制度実施団体へのサポートを行う。
[計画]
現在の HP に掲載されている「星空案内人制度 Tips」の拡充。 QandA のページの充実・・・将来的に「Tips」との統合を探る。そのために、ホームページ管理グループとの連携を進める。
ヘルプデスクとの連携を進め、問い合わせに関して講座実施団体からの問い合わせに回答できる体制を整える。
機構の運営維持のための実施団体からの経済的な援助システムの導入を検討し、進める。

単位互換制度の運用 (単位互換)

[目標]
単位互換制度の運用のために必要なことを行う。
[計画]
単位互換制度の利用について問い合わせがあれば対応する

Monthly Notices / News Letter の発行 (M&N)

[目標]
定期的に Monthly Notice / News Letter を発行し、実施団体および星空案内人のの活動を支援すると同時に、制度実施のための規則の周知徹底を行う。
[計画]
(1) 毎月一度 、実施団体のすべきことのマニュアルや周知事項を記載した実施団体向けの Monthly Notices を発行する。Monthly Notice の内容は各事業グループに関

係しているので各グループの責任で随時加えることする。
発行内容は、バーチャルオフィスの「Monthly Notice の修正」からおこなうことができる。

(2) 毎月 News Letter を発行し、法人から実施団体・星空案内人に次のような情報を伝える。(1)星空案内人制度の周知に関すること、(2)法人の活動の様子を伝えること、(3)実施団体・星空案内人の活動の様子を伝えること。

(3) 記事の内容は基本的には各事業グループが提出したもので構成する。当事業グループで編集・送信を行う。

ヘルプデスク (HD)

[目標]
当法人や星空案内人資格認定制度についての問い合わせに対応する
[計画]
(1) ホームページにあるフォームにて送られてきた問い合わせに回答する。
(2) 問い合わせの多い案件については一般化してFAQ を作成する。
(3) 事業に関する具体的な問い合わせについては、各事業グループとともに対応する。

養成を中断、中止、終了した団体の対応 (終了団体)

[目標]
過去に実施団体であった団体に関することを取り扱う。 現在は実施団体でなくなった組織で受講者や資格をとった星空案内人へのケアを行う。
[計画]
運営機構で行われている対応方法を基に、後述の内容を段階的に検討(再検討)、決定していく。
(1)運営機構での取り扱い方法の確認と終了団体の把握(特に新規メンバーのため)
(2)受講者、認定者のフォローが行えるための実施終了団体から引き継ぐ受講者情報のフォーマット(情報項目)の作成
(3)既に実施終了になった団体の受講者の情報の整理((1)のフォーマットに合わせて情報を変換等)
(4)当該情報の保管方法(データ、書面、または両方)、保管場所、保存期間などの検討
(5)該当受講者のフォローの方法のフローチャート、またはマニュアルの作成
(6)現在の実施団体、新規実施団体への周知(受講者フォローのために終了時に必要

な提供情報）

講義資料等の提供（講義資料）

[目標]
講座を担当する講師に対し、講義資料提供などを通してサポートする。
[計画]
(1)各実施団体や講師の方から、講義に使っている資料の調査
(2)法人側で整理し、全国の実施団体の求めに対して提供できるように。

海外対応カリキュラム（海外カリ）

[目標]
本制度を海外で行うための活動を行う。
[計画]
今後計画を立てることとして、現状では保留とする。

講師研修/養成（研修）

[目標]
本制度の講座講師や実施団体担当者向けに研修会を開催する。（本制度の講座講師、実施担当者の養成も含む。）「研修」的なもの全般。講師の勉強。実施団体担当者の講座運営の仕方。 これから講師になる、これから運営スタッフになる人の養成。
[計画]
(1)実施団体よりアンケートを行い、研修内容のニーズを探る。
(2)研修会実施計画を策定する。
(3)実施計画にもとづき、2024 年度に試行として一度研修会を開催する。

附属講座運営（直営）

[目標]
法人の持つ重要な機能として、星のソムリエ養成の方法を研究・開発することが挙げられる。これを実践的に行う場所として法人直営の附属講座を開講する。（なお、講座と

いう名前になっているが、実施団体と同様の活動を行うことが必要条件になる。つまり、通常の 7 科目の講座だけでなく実技科目の練習・単位認定も研究対象であるので、星のソムリエや受講生の組織で主催する星空観望会なども実施する。）

［計画］

(1) 仙台における講座（「星のソムリエ（R）仙台ラボ講座」と呼ぶ）の第 Ⅱ 期講座を実施する。
(2) 年度の後半では第 Ⅲ 期の講座開講の準備を行う。
(3) 受講修了生および地元の支援くださる方よりなる「星のソムリエ（R）仙台」で定常的な星空案内活動を行い、その中で実技科目の練習・試験を実施する。
(4) 少人数のお客さんしかいない場合の星空案内の実際の実技試験の形式を確立して、新しい認定チェックシート作成の基礎資料を提供する。
(5) 「制度研究にも参加していただく研究生を募集し、相応の称号を授与する」という実験企画を実施する。
(6) 直営講座を仙台以外の地域で展開することが可能か検討する。

新規参加を目指す団体へのサポート（新規団体）

［目標］

「養成講座を開催したい」という思いを実現できるよう、これから講座を実施しようとする団体への支援体制を整備する。

本制度の実施団体になり星空案内人を養成したいと考える団体に対して サポートを行う。

［計画］

問い合わせ窓口を整備する。

申請書作成・提出までのサポートを行い、申請書の書き直しや練直し等、申請段階でのサポートを行う。（審査委員との兼ね合いを注意する）

定期的に新規実施団体を目指す方、すでに実施団体になっているが改めて制度を理解したい人のための新規団体説明会を開催する。

全国シンポジウム開催（シンポ）

［目標］

全国の実施団体、星空案内活動をする皆さんの相互の交流のため全国シンポジウムを開

催する。
[計画]
⑴ 第17回星空案内人(星のソムリエ)シンポジウムを「ディスカバリーパーク焼津天文科学館」において開催する。
⑵ 第18回以降のシンポジウム開催地を検討する。

星のソムリエのためのワークショップ開催 (WS)

[目標]
星空案内の内容の向上のためのワークショップを行う。 特に、専門家を招いた研修をしながら、最終的に星空案内の現場で使えるものを制作し 提供することを目標とする。
[計画]
第 3 回ワークショップを 2024 年度に開催する。

全国星のソムリエサポート (星のソムリエ)

[目標]
1. 星のソムリエさんの活動に役立つようなマテリアルを提供する。
2. 星のソムリエさんにさらに学ぶ楽しみを得る機会を提供する。
3. 星のソムリエ®の資格取得後に、活動に活かせていない、意欲があっても活動ができていないような星のソムリエさんも輝けるような支援を行う。
4.「全国の星のソムリエさんが機構を支援する」「機構が全国のソムリエさんを支援する」を合言葉に、星のソムリエさん、運営機構双方にとって Win-Win の関係になる「星のソムリエ®友の会(仮称)」の設立を目指す。
[計画]
1・2023 年度でほぼ出来上がっている人工衛星ガイドを発行、提供する。
星空案内などで使える便利グッズの情報などを星のソムリエさんたちと共有する。
2・今年も継続して「星のソムリエ情報交換会」をおこなう。
3・「ペーパー星のソムリエ®のための講座」を今年度に大阪で試行する。
4・星のソムリエ®友の会(仮称)を 2025 年 7 月から運営スタートできるように骨子を作り、2025 年春に行われる星のソムリエシンポジウムで発表する。

星のソムリエユース（子ども向けの育成事業）（子ども）

［目標］
星空案内人講座の対象外とされがちな子供、および子供を持つ保護者対象への制度普及活動を 推進し、星空案内する人材の育成に貢献する。
［計画］
未就学児及び小中学生を対象とする講座や体験活動を設計する。具体的には
１．子ども（小中学生）向けに、現在の講座内容をもとにした新しいワークショップ形式型の講座を設計する。【星のソムリエユース（仮）】
２．未就学児向けに、1よりも更に内容を整理し、親子で取り組める体験を創出する。
【 星のソムリエシード（仮）】
３．子ども向けのグッズ制作を行う。

地域活動支援（地域活動支援）

［目標］ 星空案内人が地域で行う活動の支援を行う。
地域での活動（地域の学校への出前とか地域の観光とか）をする星空案内人への サポート。
［計画］
地域の学校や団体が星空ガイドを依頼するためのフォーマットを作成する。
星空案内人が活動しやすいような広報物（ウェブページ、動画などの）作成などを行う。
天文教室や星空ガイドツアーなどのプロトタイプモデルの構築を行う。

海外との交流（海外交流）

［目標］
星空案内活動を通して海外の人々との交流を図る。国境のない星空案内活動の構築を目指す。 海外との連携、海外での星のソムリエ養成を行う。
［計画］
要請があれば協力する。現状では計画は未定とする。
郡山で開催される IAU のアジア・太平洋地域会議に出席し、発表及び交流を行う予定。